

## 『新町田市史』発刊の促進を求める請願

### 請願要旨

『町田市史』は、昭和43年(1968)に市制10周年を記念して編纂に着手し、通史2冊と史料集9冊が、昭和51年までに出版され終了しました。以来約半世紀が経過し、最近では近隣の多くの市で第2次の市史編纂事業が進められ、あるいはすでに終了しています。

町田市が、市制を施行した昭和33年の人口は、約6万人でした。62年後の、現在の人口は、43万人弱で約7倍の人口増です。このように、人口が急激に増えた理由は、土地を造成し多くの住宅地を造ったことによります。そのため、埋蔵文化財の発掘調査が行われ、縄文・弥生時代の重要な土器ほかの遺物や遺構などが発見されました。また、都市化が進む一方で市民が所有していた多くの貴重な古文書等が散逸しています。『町田市史』が刊行されてから44年を経た今日、最新の学問の成果を盛り込んだ『新町田市史』編纂の事業を進め、市民の宝である歴史資料の保存に努めることが、急務であると考えます。

『新町田市史』を刊行することは、町田市民にとって地域に対する理解と愛着を深め、地域への誇りを一層育んでいけるものと思います。市史編纂で収集した資史料等については、散逸の防止に向け、適正な整理保存の方法を検討するとともに広く市民に公開し、まちづくり、生涯学習や学校教育などでの活用に役立つものと確信致します。

『新町田市史』の編纂に早急に着手されるよう請願いたします。

### 請願項目

- 1 『新町田市史』の編纂に早急に着手すること
- 2 市民が所有している古文書などを収集する窓口を早急に開設すること。